



高幡会だより

こころ 80 2024.7



私達は、地域において必要とされる 病院・施設・事業所を目指します。



日本医療評価機構認定病院 大西病院 <http://www.oonishi-hp.or.jp/>

七子峠より久礼湾、太平洋を望む



国道56号線の四万十町床鍋と中土佐町久礼との間にある標高 287 メートルの七子峠

七子峠の由来は、

【いつの頃か、この峠に城を構えていた城主が戦いになり討死した。城主には七人の子がいたが、落城とともに母親と谷へ身を投げて自害した。ところが落城の翌年から、早春の頃になると一羽の鶴が悲しげに鳴きながらこの峠の上を七日間、七年にわたって舞い続けたという。里人たちはこの鶴こそ、子を失った母親ではないかとささやき合い、七人の子を憐れんでこの峠を「七子峠」と名づけた。】

といういわれがあるそうです。

かつては国道 56 号の休憩所として賑わっていましたが、高速道路が開通してからは訪れる人も減りました。

展望所から、目の前に広がる緑深い山々と蛇行しながら下る谷、奥に見える高速道路、そしてその向こうに広がる太平洋。

物悲しい峠のいわれに思いをはせながら、目の前に広がる雄大な景色を眺めていると、暫し時間の経つのを忘れていました。

ICTメンバー来院

7月26日午後、国立病院機構 高知病院のICT(感染制御チーム)2名に来院していただき合同カンファレンスを開催しました。来院されたメンバーは、看護師1名、薬剤師1名です。

ICT(感染制御チーム)は院内における感染症対策の司令塔のようなもので、院内で起こるさまざまな感染症から患者・家族、職員の安全を守るために活動を行う組織です。さまざまな職種が集まり、横断的に病院全体の感染対策活動に従事します。



打ち合わせの後、病棟、薬剤部のラウンドを行いました。

直接来院してラウンドしていただく事で、自分たちが普段気付かなかった視点からアドバイスを頂けた事や、意見交換ができた事は大変有意義でした。



これからも他院のICTのメンバーと交流を深めながら、より効果的・効率的な感染防止対策の向上に努めてまいります。

検査科 山口恭代

消防避難訓練

6月17日 昼間想定で、消防避難訓練を実施しました。



院長

「毎回、同じ話となりますが、訓練は年2回ですので、火災が発生したらどうするか、避難方法はどうか、など、普段から常に考えて業務を行うように努めて下さい。」

消防設備会社

「消火栓の操作は二人で声を掛け合って、ホースを引き出す人、バルブを開ける人と分担して行って下さい。放水時は、勢いで体が後ろに持って行かれることがあるので、足元を安定させて身構えてから放水コックを開けて下さい」



訓練の機会は限られているので、訓練の時以外も、頭の中で火災発生を想定し、今ならどうすれば迅速に避難できるか、誘導できるかをシミュレーションしておく事はとても大切です。また、そうした意識を職員全員が持てるようにこれからも努めてまいります。

高幡会の食事

7月の行事食は「七夕」、「土用の丑の日」でした。

今年の七夕はそうめんを提供しました！



献立

- ・米飯
- ・そうめん
- ・南瓜の煮物
- ・牛乳寒天



とても暑い日が続いていたので患者様からは「冷たくて食べやすい」と好評でした。

土用の丑の日 暑い夏を元気に過ごせますように…

献立

- ・散らし寿司
- ・なすの煮物
- ・すまし汁



今年は月に1回提供している散らし寿司の上にうなぎをのせいつもより豪華に仕上げました。皆さん年に1度のうなぎを楽しんでいらっしゃいました。



気温の高い日が続きます。

こまめな水分摂取とバランスの良い食事を心掛け暑い夏を乗り切りましょう。

栄養科

ひなただより

サービス付き高齢者向け住宅「ひなた」

高齢者の単身・夫婦世帯が安心して居住できる賃貸等の住宅です。住まいの他に、状況把握サービス、生活相談サービスがつきます。必要な方には、食事の提供やお薬の管理なども行います。介護保険サービスを利用する方は、入居者ご自身が必要なサービスをご利用できます。介護保険に申請していない方も、居住できます。



食堂は4階。必要な時には、部屋食対応もできます。



各階に広い共用スペースもあり、くつろいでいただけます。



各階に浴室があります。3階には個浴もあります。



遠方からの来客の為のゲストルーム完備。

散髪コーナー完備。
(出張散髪をお願い可)



毎週月曜日、16時過ぎに移動スーパー「とくしまる」さんに来ていただけるようになりました。ご自身の目で商品を見て、好きなものを買っていただけます。

デイサービスひなた

サービス付き高齢者向け住宅ひなたの1階にあるデイサービス。ひなたに入居している方はもちろん、四万十町在住の各方面にお住いの方もご利用いただいています。運動や入浴、昼食など1日を通して楽しんでいただけます。



季節に合わせた作品作りやカレンダー作成もみなさんで取り組んでいます。



【熱中症予防×コロナ感染防止】

環境省と厚生労働省は、夏場の新型コロナウイルス感染症の予防にあたり、特に熱中症に注意する必要があるとして、「新しい生活様式」を踏まえた熱中症を防ぐためのポイントをまとめています。



■感染症対策と熱中症対策を両立するポイント

1. マスクを着用すべき時とマスクを外す時を使い分ける

夏場の高温多湿な環境下でのマスク着用は熱中症のリスクが高くなります。屋外で人と十分な距離(2m以上)がとれる場合にはマスクを外しましょう。また、マスクを着用している時は、強い負荷のかかる作業や運動は避けるようにします。もちろん、屋外で人と十分な距離があれば、散歩、ランニング、通勤、通学等でマスクの着用は必要ありません。

2. 暑さを避ける

暑さが厳しい日中の外出はできるだけ避けるのが望ましいのですが、やむをえず外出するときは、涼しい服装で、日傘や帽子を使用します。また、長時間、日光に晒されないように日陰を見つけて休みながら移動します。

3. エアコン使用中もこまめに換気します

ウイルスへの感染を防ぐため、扇風機や換気扇、窓の開放により換気を行います。また、室内を換気する際は室温が上がらないようカーテンなどで直射日光を避け、エアコンを調節しながら行います。

4. こまめな水分補給を

のどが渇いていなくても、1日あたり1.2リットルを目安にこまめに水分補給を行います。大量に汗をかいた時は塩分の補給も忘れずに。

5. 暑さに備えた体づくりと日頃の体調管理

暑くなり始めの時期から適度な運動を行い、暑さに体を慣らしておきます。「やや暑い・ややきつい」と感じるくらいで毎日30分程度の運動を。また、体調が悪く感じた時は、無理せず早めの静養を。

高齢者、子ども、障害のある方は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。特に高齢者については、熱中症による死亡者の約9割が高齢者で、高齢者の熱中症は半数以上が自宅で発生していると言われており、周囲の方からの積極的な声掛けも重要です。



皆様からの「投稿」をお待ちしております。
病院へのご意見・ご質問、広報誌へのご感想
ご意見などをお寄せください。

〒786-0007
高知県高岡郡四万十町古市町6番12号
TEL.0880-22-1191 / FAX 0880-22-1250
✉ e-mail : info@oonishi-hp.or.jp